プロジェクト演習

《担当者名》福祉マネジメント学科全教員 大原 裕介(客員)

【概要】

3 学年「プロジェクト演習」で所属したゼミナールで、教員の指導のもと、継続して福祉に関する専門的な内容を学修する。 教員が示す学修課題と学生が設定する学修課題にあわせて年間の学習計画を定める。授業の具体的な進め方については、各担当 教員が提示する。

【学修目標】

学生が各自の問題意識・関心のあるテーマについて、これまで学んだ知識や技術を生かし、地域にある問題の解決やニーズの充足に向けて、学生が主体的に企画・実施・評価を行うことを目標とする。

【学修内容】

【子修/	10000000000000000000000000000000000000		
	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	「プロジェクト演習」にて学修した内容の確認及び前期の演習の進め方の確認	演習を担当する教員、大原
2	演習課題(1)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立案	演習を担当する教員、大 原
3	演習課題(2)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立案	演習を担当する教員、大 原
4	演習課題(3)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立案	演習を担当する教員、大 原
5	演習課題(4)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大原
6	演習課題(5)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大原
7	演習課題(6)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大 原
8	演習課題(7)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大 原
9	演習課題(8)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大 原
10	演習課題(9)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大 原
11	演習課題(10)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大 原
12	演習課題(11)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大 原
13	演習課題(12)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大 原
14	演習課題(13)	課題に関する検討及び問題解決に向けての企画・立 案・実施	演習を担当する教員、大原
15	小括	前期のまとめ	演習を担当する教員、大 原
16	演習課題(14)	前期の取り組みを評価し、目標達成に向けての企画・ 立案の再検討を行う	演習を担当する教員、大 原
17	演習課題(15)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大 原
18	演習課題(16)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大 原
19	演習課題(17)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大

	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			原
20	演習課題(18)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大 原
21	演習課題(19)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大原
22	演習課題(20)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大 原
23	演習課題(21)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大 原
24	演習課題(22)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大 原
25	演習課題(23)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大 原
26	演習課題(24)	目標達成に向けて、計画に基づき実施する	演習を担当する教員、大 原
27	演習課題(25)	これまでの取り組みを振り返り、評価を行う	演習を担当する教員、大原
28	演習課題(26)	これまでの取り組みを振り返り、評価を行う	演習を担当する教員、大 原
29	演習課題(27)	これまでの取り組みを振り返り、評価を行う	演習を担当する教員、大 原
30	総括	演習のまとめ	演習を担当する教員、大 原

【授業実施形態】

面接授業

__授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

「拉価方法】

個人の取り組みの状況(50%)やプレゼンテーションの内容(50%)により総合的に評価する。

【教科書】

担当教員が必要に応じて提示する。

【参考書】

担当教員が必要に応じて提示する。

【学修の準備】

毎回、教員が授業時に提示する内容に取り組むこと(予習復習2時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律

的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4: 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP5: 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している